

答えのスペースは大切に・慎重に!

1 繰り上がりの数は、どこに書かせるの?

【たし算】 【かけ算】

3 7	+	6	1	3 7		
+	6	6	4	+	6	
4	3	4	3	2	2	2

→

3 7	×	6	4	3 7		
×	6	6	2	×	6	
2	2	2	2	2	2	2

教科書によっても様々ですが、答えを書くスペースに、答え以外の内容を書かないように指導するのが基本と考えます。また、必ず書くべきものではなく、「より正確に」という視点での1つの方法としてとらえましょう。

2 割り切れないときは、どのように書かせるの?

185 ÷ 9 = 20.55555... の場合で

185 ÷ 9 = 20.55
 185 ÷ 9 = 20.6
 185 ÷ 9 = 21

小数第1位までや、上から2けたの概数を要求された場合に、このような式表現を多く見かける。等号(=)の意味を明確に教授する必要がある。

185 ÷ 9 = 20.⁶~~55~~...

A 約 20.6

整除できないこと・四捨五入の処理などが伝わるように表記させましょう。

特別なルールではなく、分かり切った事ですが、指導者が注意して子どものノートを見ないと、気付いてあげることができません。

3 概数・見積りの問題では、どのように答えるの?

歩幅が約71.5cmのしげき君が、4500歩、歩いたときの道のりは?

71.5 × 4500 = 321750 の場合で

問題文に登場している 71.5 が概数であるため、要求されてなくても、答えに約をつけることを伝えましょう。
A 約 321750cm

問題文に登場している 71.5 が、3けたの概数であるため、要求されてなくても、答えも上から3けたの概数にすることを伝えましょう。(小数第1位なら、答えも)
A 約 322000cm (約 3220m・約 3.2km)